



第19-11号

2019年4月26日

## 2019年度 鉄道事業設備投資計画 ～ 「サービスの向上」「安全対策の強化」を中心に総額327億円 ～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、お客さまに安心、便利、快適に鉄道をご利用いただくため、鉄道事業の設備増強を進めています。

当社では、2018年3月に完成した代々木上原駅～登戸駅間の複々線を最大限に活用したダイヤ改正により、抜本的な輸送改善を図ってまいりました。

今年度は、複々線が完成したこと等により輸送力の増強が図られたことから、「サービスの向上」、「安全対策の強化」を中心に、ロマンスカーミュージアム建設工事など、総額327億円の設備投資を実施します。

2019年度の鉄道事業設備投資計画の概要は、下記のとおりです。

### 記

#### 1 サービスの向上

新型通勤車両（5000形）を導入します。加えて、特急ロマンスカー・EXE（30000形）、通勤車両のリニューアルを進め、さらに快適な輸送サービスの実現を目指します。また、参宮橋駅、下北沢駅、向ヶ丘遊園駅、片瀬江ノ島駅等の駅舎の改良工事により、魅力的な駅づくりを進めます。



新型通勤車両（イメージ）



EXEα（30000形）



参宮橋駅（イメージ）



片瀬江ノ島駅（イメージ）

#### 2 安全対策の強化

ホーム上の安全性を高めるため、今年度中に、代々木上原駅（1、4番ホーム）、東北沢駅、世田谷代田駅、梅ヶ丘駅へのホームドアの設置工事を進めます。また、自然災害や大規模地震による被害を最小限に抑えるため、法面の改修や施設の改良を実施するほか、踏切の安全対策を推進します。



ホームドア設置イメージ  
（新宿駅）



法面改修工事

2019年度鉄道事業設備投資計画の詳細は下記のとおりです。

## 記

### 1 サービスの向上

#### (1) 車両の新造とリニューアル

##### ① 新型通勤車両の製造

2019年度中の導入を目指し、新型通勤車両「5000形」を製造します。

##### ② 特急ロマンスカー、通勤車両のリニューアル

ロマンスカー・EXE（3000形）をロマンスカー・EXE $\alpha$ に1編成リニューアルします。また、通勤車両「1000形」を2編成リニューアルします。車いすスペース、車内LCD表示器、自動放送装置の設置に加え、制御装置の更新や車内照明のLED化による省エネルギー化や、主電動機、コンプレッサなどの床下機器の低騒音化を図ることで環境に配慮します。

#### (2) 駅舎改良工事

##### ① 参宮橋駅のリニューアル

2020年夏頃の施設供用に向けて、引き続き駅改良工事を進めます。『木と緑に溶け込む「杜」の玄関口』をコンセプトに、駅周辺の環境との共生を図りながら木の温かみを感じられ、地域の皆さまやお客さまから愛され親しまれる駅を目指します。駅舎の外装を一新するほか、駅前空間を拡大し、トイレを全面リニューアルするなど、機能性を向上させることで、より便利で快適にご利用いただけるようになります。

##### ② 下北沢駅舎改良工事

2018年度は複々線化事業の進捗にあわせて、改札口の新設や東西方向の自由通路の開設など駅舎部の構築を完了しました。2019年度は、駅商業施設や通路部の整備を進め、さらに魅力的で便利な駅を目指します。

##### ③ 向ヶ丘遊園駅のリニューアル

2019年度中の完成に向けて、開業当時から残る北口駅舎を改修し、原型を保存しながら外装を一新します。同駅は、2019年4月1日向ヶ丘遊園駅南口駅舎と駅構内の跨線橋をリニューアルしました。引き続き、歴史や自然との調和を意識した「ナチュラル・レトロモダン」をコンセプトに、魅力的な駅づくりを進めます。

##### ④ 片瀬江ノ島駅のリニューアル

2020年5月（予定）の駅舎完成に向けて、引き続き改良工事を進めます。同駅は、2019年1月25日に新しいお客さまトイレを供用開始するとともに、改札口を仮移設しました。今年度は本格的な竜宮造りの駅舎建設工事に着手し、本設改札口等の工事を推進します。

### 2 安全対策の強化

#### (1) ホームドアの設置工事の推進

ホーム上における安全性向上のため、代々木上原駅（1、4番ホーム）、東北沢駅、世田谷代田駅、梅ヶ丘駅にホームドアを設置し、今年度中に使用開始する予定です。また、2022年度までに1日の利用者数10万人以上の駅へのホームドア設置を計画しており、実施に向けた

設計等を推進します。

※ ホームドアの設置駅および使用開始年度（予定）

時期	設置駅
設置済	新宿（４、５番急行ホーム）、代々木八幡、下北沢（地下１階ホーム）
２０１９年度	代々木上原（１、４番ホーム）、東北沢、世田谷代田、梅ヶ丘
２０２０年度	下北沢（地下２階ホーム）
～２０２２年度	新宿、登戸、新百合ヶ丘、町田、相模大野、海老名、本厚木、大和

※ １日の利用者数１０万人以上の駅のうち、藤沢駅については、大規模改良工事にあわせて整備を計画するため、時期は未定です

#### （２）法面改修工事の推進

自然災害（土砂崩壊等）による被害の抑制のため、今年度も愛甲石田駅～伊勢原駅間、東海大学前駅～秦野駅間における法面改修工事を実施します。

#### （３）耐震工事の推進

大規模地震による被害を最小限に抑えるため、今年度も愛甲石田駅および小田急多摩センター駅天井補強工事、新百合ヶ丘駅～柿生駅間のトンネルにおける耐震補強工事を推進します。

#### （４）踏切の安全対策の推進

踏切の安全性を一層高めるため、今年度も非常ボタンの増設、高機能障害物検知装置への更新工事などを推進します。

### ３ ロマンسカーミュージアムの建設

小田急線海老名駅の隣接地に、「子ども」も「大人」も楽しめる鉄道ミュージアム」をコンセプトとした、小田急の歴史を後世に伝える「ロマンсカーミュージアム」の建設工事を進めています。２０２１年春（予定）の開業に向けて、今年度は施設建物を建築します。



ロマンсカーミュージアム（イメージ）

以上